

全肥発令7第18号
令和7年8月27日

関 係 各 位

一般社団法人 全国肥料商連合会
会 長 山 森 章 二

『第43回施肥技術講習会』（第16回基礎・実学混合コース）開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当連合会の事業推進に格別なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて「第43回施肥技術講習会」を下記にて開催致し度ご案内申し上げますが、初めに受講料改定についてご説明申し上げます。

本施肥技術講習会は2011（平成23）年8月23日東京に於いて第1回目を開催し、本年2025（令和7）年2月26日岡山に於いて第41回を開催するに至り、この約15年の間受講料を据え置いてきましたが、この数年間の物価高騰に伴う会場使用料、旅費交通費、宿泊費、資料印刷代等諸経費の値上げにより、運営が厳しい状況となってきた為、前回第42回の東京農業大学での講習会より受講料を改定させて頂いておりますので、何卒事情ご賢察の上ご了承願います。

尚 これまで通り新型コロナ等感染症対策を配慮した上で開催する所存ですので、下記の注意事項を事前にご確認頂きご承知頂いた上で、添付の「募集要項」に基づきご応募頂きます様宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：令和7年11月19日（水）～20日（木）

場 所：熊本城ホール 3階 大会議室A1（19日・20日共通）

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3番20号

募集人数：約100名

応募締切期日：令和7（2025）年10月14日（火）12：00迄

今回の講習会は新規に受講して頂く「基礎コース」と、更新を兼ねた「実学コース」を同時に受講頂くカリキュラム「第16回基礎・実学混合コース」で行います。

内容に付きましてはスケジュール表の通りですが、5人の講師の内3名の各講義前半45分は「基礎コース」の内容、後半45分は「実学コース」の講義を行い、2名の講師は両コース共通講義として各50分の講義を行います。

新規受講頂く「基礎コース」対象者は、「改訂新版 土と施肥の新知識」（令和3年3月発行）を使用し講習致します。事前に本書を読んだ上で、受講頂きます様お願い致します。

2 日目は簡易土壌分析機器の実演講習を受講した後、検定試験を行ないますので是非受験して頂きたく存じます。

「実学コース」対象者は1日で受講終了し、講習会終了後「施肥技術シニアマイスター」新規・更新登録、又は「施肥技術マイスター」更新登録の何れかを選択して頂きます。また法令・法規に付きましては、令和2年12月から肥料取締法が改正され新たな肥料法が施行されましたので、農林水産省農産安全管理課専門担当官を招聘し改正点を含め講義頂く事となっており、更に充実させたカリキュラムとして準備を致しております。

「施肥技術マイスター」は後援を戴いている農林水産省からも「土づくり専門家リスト」HP掲載と併せ、生産現場での官民連携による営農普及活動を行う指導者として高い期待を寄せられております。ご多忙のことと存じますが、多くの会員各位にご参加頂き、自己研鑽を積まれ更なるスキルアップに繋げて頂き度、ご周知の程宜しくお願い申し上げます。

<事前にご承知頂きたい注意事項>

新型コロナウイルス等感染症防止の為、以下の対応をさせていただきますのでご理解・ご協力の程お願い致します。

- 1) 会場の収容人数制限を超えて講習会は開催出来ませんので、応募者多数の場合、希望者全員の応募をお受け出来ません。その際ご参加頂けない方には事務局よりその旨ご連絡致しますのでご了承願います。
- 2) 以下の新型コロナウイルス等感染症防止対応策にご協力願います。
 - ①受講当日朝に各自出発前に検温頂き、37.5 度以上であった場合は欠席される旨を事務局に電話でご一報願います（連絡先は別途参加者に提示します）。
 - ②その他の感染防止対策については、講習会場である“熊本城ホール”の方針に沿って頂くようお願い申し上げます。
具体的防止対策については、応募締切後の最終案内（原則 e メール）で受講者各位にご連絡させていただきます。
- 3) 今回は各講師との意見交換会は開催致しません。
- 4) <重要>

本講習会は、新型コロナウイルス等感染症状況によりコースの変更／講義の形式変更／開催の延期又は中止等々、応募締切後に感染症状況及び社会情勢を見た上で種々変更を行う事がございます。その場合はご連絡させていただきますが、連絡方法は、通知時間の早さ・正確性の観点より原則 e メールで行う事と致しますので、e メールアドレスを申込書に必ず明記頂きたくお願い申し上げます。

e メールアドレスをお持ちでない場合は FAX 番号を、どちらもお持ちでない場合は、ご本人と直接連絡が取れる電話番号をご記載願います。

※添付の“申込時の注意事項”も必ずご一読頂くようお願い申し上げます。

以上

第43回施肥技術講習会／講義スケジュール(案)

2025年11月19日(水)～20日(木)

主催:(一社)全国肥料商連合会 後援:農林水産省

	11月19日(水)		講 師	講 義 内 容
	8:45	受 付		熊本城ホール 3階 大会議室A1
	9:15～9:30	開講式		
1	9:30～10:20	<共通 50分>	農水省	I.「肥料の品質の確保等に関する法律」の概要
	10:20～10:30	休 憩		
2	10:30～11:15	<基礎 45分>	後 藤	II-①. 土壌と施肥の基礎知識
				1. 土壌の生成と分類 2. 各種土壌の特性 3. 土壌の物理性、化学性、生物性
3	11:15～12:00	<実学 45分>		II-②. 土壌診断分析に基づいた施肥
				1. 肥料価格高騰にも役立つ土壌診断 2. 国産バイオマス・未利用資源の肥料利用 3. 有機農業は環境にやさしいか？
	12:00～12:45	昼 食		(弁当を準備)
	12:45～12:50	DVD鑑賞		<<加里鉱石の産出と製造>>
4	12:50～13:35	<基礎 45分>	小 川	III-①. 施肥の原理と肥料の種類・特性、施肥の方法
				1. 施肥の原理、肥料資源の有限性 2. 肥料の分類と特性 3. 施肥量の決定方法
5	13:35～14:20	<実学 45分>		III-②. 環境にやさしい施肥技術
				1. 農業と環境 2. あふれる窒素をどうする 3. 環境にやさしい農業における施肥技術
	14:20～14:30	休 憩		
6	14:30～15:20	<共通 50分>	五十嵐	IV 生産環境と圃場栽培管理
				1. 気象環境がもたらす、栽培環境変化 2. 被覆による環境変化と生理生態の関係 3. 野菜類に対する栽培技術対応
	15:20～15:30	休 憩		
7	15:30～16:15	<基礎 45分>	馬	V-①. 植物のミネラル栄養
				1. 植物と動物の栄養素の違い 2. 肥料の誕生と功罪 3. 植物のミネラル栄養素の機能と欠乏症状
8	16:15～17:00	<実学 45分>		V-②. 植物のミネラル栄養素の取り方
				1. ミネラル輸送体と養分吸収における根系の役割 2. ケイ素の効果とケイ酸輸送体 3. ミネラル分配と節の役割
	17:00～17:10	閉講式		* 実学コース受講者は解散
	11月20日(木)			(基礎コース受講者対象)
	8:45	受 付		熊本城ホール 3階 大会議室A1
9	9:00～10:20	実演講習	メーカー技 師	VI. 簡易土壌分析機器の特長と使用方法 農家のお医者さん / コンハ外水質計LAQUAtwin 農大式みどりくん / 反射式光度計RQフレックス
	10:20～10:30	休 憩		
	10:30～11:20	検定試験(1)		熊本城ホール 3階 大会議室A1
	11:20～11:35	休 憩		
	11:35～12:25	検定試験(2)		熊本城ホール 3階 大会議室A1
	12:25～12:30	閉講式		終了後解散

*講義内容は、一部変更になる場合があります事ご了承下さい。

第 43 回全肥商連施肥技術講習会 講師プロフィール

(敬称略)

後藤 逸男 (ごとう いつお)

東京農業大学名誉教授 東京農大発(株)全国土の会代表取締役
「全国土の会」 会長 (農家のための土と肥料の研究会)
農学博士 土壌学及び肥料学を専門分野とする。土壌病害の総合防除対策、
土壌改良資材の研究開発。農業生産現場に密着した実践的土壌学を目指す
「環境保全型農業事典」、「土壌学概論」、「施肥管理と病害発生」(共著)、
「土壌・肥料・植物栄養学用語集」、「土壌サイエンス入門」他多数執筆

小川 吉雄 (おがわ よしお)

元茨城県農業総合センター園芸研究所 所長
元鯉淵学園農業栄養専門学校教授、元東京農業大学客員教授
農学博士 土壌・肥科学、米麦・畑作物栽培等を専門分野とする。
窒素循環の再生技術を研究、農業と環境問題を研究。「土壌肥料用語事典」、
「地下水の硝酸汚染と農法転換」、「トコトンやさしい土壌の本」(共著) 他多数

五十嵐 大造 (いがらし だいぞう)

元東京農業大学国際食農科学科教授
元神奈川県農業技術センター三浦試験場主任研究員 農業改良普及員に従事
農学博士 主に露地野菜の栽培技術及び農業気象学を基にした気象生態の研究
に従事 ベタがけ等の気象改良による生産安定を中心に現場での野菜栽培
技術に取り組む 「局地気象学」「ベタがけを使いこなす」等執筆

馬 建鋒 (ま けんぼう)

岡山大学資源植物科学研究所 教授
農学博士、作物のミネラル輸送機構の解明に従事
「日本におけるケイ酸研究」(英文)、「植物栄養学」(共著) など執筆
2015 年から 9 年連続「世界で最も影響力のある研究者」に選出
2018 年から低 pH における植物-土壌相互作用国際シンポジウム運営委員長
日本土壌肥料学会賞、日本農学賞、紫綬褒章、国際肥料協会 IFA Norman
Borlaug Plant Nutrition Award、Dennis R. Hoagland Award などを受賞

農林水産省 (肥料の品質の確保等に関する法律の概要)

農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 専門担当官

以上

第43回施肥技術講習会 受講申込みの際の注意及び確認事項

(全国肥料商連合会事務局：TEL03-3817-8880)

【申込時に予めご了承・ご理解頂きたいこと】

「募集要項」の「17. 特記事項」の項でもご案内しておりますが、新型コロナウイルス等の感染症が今後再燃するような状況になった場合、開催直前に講習を延期する・中止する、等々、申込時のご案内と異なった対応を取らざるを得ない状況になる事もあり得ますので、予めご了承頂きたく宜しくお願い申し上げます。

< 1 > 申込の方法

- 申込用紙に記入の上、**必ずFAXにて**全肥商連本部宛てにお申込み願います。
* 氏名の欄に漢字だけでなく、**フリガナを記載**するようにお願いします。
- 申込の変更やキャンセル**は、**必ずFAXで**行うようお願いします。
- 受講料等の支払いで、**請求書や領収書が必要な方は、申込時にFAXに**
その旨記載願います。また領収書の費目（但し書）は「受講料として」と記載致しますので、
これ以外の費目での領収書が必要な方は、具体的な費目名・その金額をFAXに記載願います。
※当連合会は免税事業者で適格請求書(インボイス)発行事業者ではありませんので、請求書及び領収書に登録事業者番号の表示は有りません。
※請求書・領収書は原則PDFファイルをメールに添付して送付致します。
- 申込用紙をFAXで送付頂くと、申込の完了となります。
締め切り日の令和7年10月14日（月）以降に（10月20日頃）、講習会開催可否の連絡を
事務局より連絡させて頂きます。その際に、受講料の支払口座、期日等を連絡致します。
- 上記第4項に関する連絡は原則E-Mailで行います**（情報伝達の早さと正確性の観点より）。
従い、**申込FAXに必ずE-Mailアドレスを活字体で正確に記載**願います。
メールアドレスに、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）がある方は分かるように記載願います。また、数字の0（ゼロ）とアルファベットのO（オー）、
数字の1（イチ）とI（大文字アイ）とl（小文字エル）などは判別出来るようにご記載願います。
申し込み以降は他の連絡等も原則E-Mailで行います。

E-Mailで連絡する際、以下の事務局3名宛で発信願います（本紙1名、写し2名の連名）

To: hagimori@zenpi.jp
Cc: nishide@zenpi.jp
Cc: muraguchi@zenpi.jp

- E-Mailアドレスをお持ちでない方は、FAX番号を記載願います。
E-MailアドレスもFAX番号もをお持ちでない方は、**本人と直接連絡が取れる電話番号**をご記載下さい。

< 2 > 受講料

基礎コース	
教材「改訂版 土と施肥の新知識」	受講生1名
上記教材をお申込みの方 →	¥25,750
お申込みされない方 →	¥23,000
実学コース	
受講生1名	
	¥25,000

< 3 > 受講料の支払方法

- 振込期日、振込口座の明細等を後日連絡致しますので、必ず**銀行口座振込**でお願いします。
※その際、領収書の必要な方は、お申し出ください（必要とする費目と金額をご指示願います）。
- 期日に間に合わない場合は事務局に連絡し、再指定された期日までに必ず振込で行うようお願い致します。

< 4 > 已を得ない事情でキャンセルする場合

- 已むを得ない事情でキャンセルする場合、可及的速やかに全肥商連事務局へ連絡願います。
急ぎで電話で連絡した場合でも、**確認のため(必ず)追ってキャンセルの旨をFAXで**
送信願います（お申込時に使用したFAX用紙に“キャンセルします”と手書きで記入して
送信頂ければ結構です）。
- キャンセルした日が講習会開催日の3営業日前にかかり、手配した昼食等キャンセル
出来ない場合は実費をご負担いただきますのでご了承願います。
- キャンセルした場合、受講料は2. の実費と振込手数料を差し引いた金額を、後日
指定口座に振込にて返金致します。従って、**キャンセルをFAXで連絡する際には**
返金を受領する口座の詳細を必ずご記載願います。
※教本「改定新版 土と施肥の新知識」のご購入はキャンセルとなりませんので、
教本をご購入頂いた場合は教本代も差し引いた金額の返金となります。